# 愛労連

愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町９－７
労働会館東館３Ｆ
ＴＥＬ052－871－5433
ＦＡＸ052－871－5618
ＵＲＬhttp://www.airoren.gr.jp
発行人　榑松佐一
第158号　2006年９月10日

**安全・安心の公共サービスシンポ**
と　き　10月15日(日)　13:30から
ところ　名証ホール（名古屋証券取引所内）
※地下鉄栄駅8番出口より徒歩2分

# パロマ パート・バイトに不祥事のツケ

## パートの首切り許すな
## パ臨連・生協労連パート部会も申し入れ

ガス中毒による死亡事故を20年間も隠蔽してきたパロマ工業が、8月10日、東海3県で約１００人ものパート・アルバイトに解雇を通告しました。愛労連はただちに解雇撤回を申し入れると同時に岐阜・三重労連によびかけて22日、23日にパロマ労働相談を行いました。全労連も8月23日に申し入れ、今月7日には生協労連パート部会・愛労連パート臨時労組連絡会が「パートだからと簡単にクビ」を切るパロマに「パートの泣き寝入りを許すな」と要請行動を行いました。

### 違法と不法の実態まざまざ

８月17日、愛労連の要請をテレビや新聞各社が大きく報道。その後、５道府県の方から情報や相談が寄せられました。それによれば８月10日の解雇通告以外にも、８月中に解雇を通告されると言われたり、「その場で呼ばれて3日後に解雇。手当もない」、「８月末まで休むように言われたが賃金はゼロ」などの違法行為が伝わってきました。解雇された方は「怒りでいっぱい」とテレビの取材に応えていました。

### 社員にはボーナス・パートは解雇

パロマの小林社長は８月３日、全社員に「冬のボーナスを全額支給する」との文書を出しました。その一方でパート・バイトには解雇を通告。愛労連の要請に対して愛知労働局は「正社員に高額なボーナスを支給しながらパートを解雇したり、パートだけを人選して解雇するのは整理解雇４要件を満たさないと判断される可能性が高い」と応えています。愛労連は全労連と共に再度要請を行いましたが、パロマはこの不法行為を改めようとしません。

### 「パートはいつでもクビにできる」

４工場以外のパートにも「９月末までにやめる人には1ヶ月分の給料を上乗せする」と説明。パートからはブーイングの声が上がりましたが、半分弱がやめることを考えています。その工場では数年前にもパートをクビにし、「パートはいつでもクビにできる」のが当たり前になっているようです。

総務部は「不安になってやめられる方がいるので手当をしているだけ。辞めさせようとしているのではない」と言いますが、不安にさせるところから「退職勧奨」が始まっています。

パートの多くは「この会社は何言ったってダメ」と泣き寝入りを余儀なくされています。「主婦としてガス器具の安全は切実。それを作っているパートの権利が保障されないようでは不安」と生協労連パート部の懸樋妙子さんはＴＶのインタビューに応えていました。

愛労連のパロマ申し入れ（8/17）

## 同族支配と無責任体質
## 労働組合の役割発揮を

愛労連の労働局申し入れ（9/5）

### 「個人責任」追及が「無責任」体質に

社員からも声が届いています。「大きな会社なのに退職者が非常に多い」「管理職でも上に文句を言ったら簡単にとばされる」「社長が直々に職場にきて、その場で責任を問われ、辞めていった人もいる」。こんな状況が長く続くなかで「命令されたことしかしない、できない」という企業風土が定着しています。

また個人責任が徹底的に追及され、従業員どおしで責任を押しつけあうこともしばしばといいます。死亡事故についてパロマは当初「改造された製品はすでにわが社の製品ではない」と言っていました。ある社員は「まさにパロマらしいと思った」と言っています。

### 労働組合の姿が見えない

20年にわたって死亡事故が隠蔽されてきた背景には「モノが言えない」企業体質があります。消費者が安心して利用するためにはこの体質を変えることが必要です。社長も会長も監査役も親子という同族企業のなかで、これができるのは労働組合ですが、残念ながらいまパロマ労組のとりくみは見えてきません。パロマの労働者が、同族支配を打ち破り、一日も早く会社の信用を取り戻すことが求められています。

全労連のパロマ申し入れ（8/23）

パロマ大口工場での宣伝（8/29）

## パートだって従業員

愛労連のブログ「パロマ110」に寄せられた声より
http://rodo110.cocolog-nifty.com/paloma/

お盆休み前の昼休みに工場長から「減産の為パート・アルバイトの解雇をします。アルバイトは９月15日まで、金銭条件は無し。パートは本社の総務が来てから１ヶ月後の解雇。１ヶ月分の給料の上乗せ」と話しがありました。

減産させたのは社長の記者会見の為なのにそのツケがなんで？私達？。

パート、アルバイトだってパロマの「従業員」。汗、油まみれ、涙を流しながら短い時間だけど「必死」に働いてるのに！「悔しくて溜まりません」。

## こうむ

「中央が『紙と鉛筆の行政』であるなら、地方政治は『汗と涙の行政』だ」と愛知県知事選挙に立候補を表明している、とある現職市長が語ったとされている（中日・９／５）。私などは思わず、「うまい」とうなってしまった▼連想ゲームのように、一つの言葉からその人なりのイメージをふくらませる。例えば、中央＝霞ヶ関＝国＝官僚ときて、現場で働く国家公務員も知らぬ中央官僚が「紙と鉛筆」で地方無視の数字なぶりをしている。方や、地方は、住民の顔が見え、「住民の声に耳を傾け、住民の気持ちにより添った行政」をめざし、中央の冷たい行政とたたかって「汗と涙」を流しているとと▼そこで、市長は、「今やローカルが大切だ」と地方政治への思いを語った、と中日はつなぐ。市長は「両方必要だ」と言っているのに、アナタは勝手に「中央は悪、地方は善」として、何か市長に「期待」してしまう。なにやら、小泉のワンフレーズ、対立構図を思い出しませんか。「官は悪で民は善」を無条件の前提として繰り返す「官から民へ」を▼小泉流に染め上げられた脳で「おかしい」と気づき出すのに、５年間もの歳月と尊い犠牲が払われた。官がすべて悪で民がすべて善でないことは明らかでしたのに。マスコミに踊らされない冴えた頭脳を！（福）

職場 地域 で話しあってみよう！

# ポスト小泉はいずれも悪政の張本人

自民党の総裁選挙が９月20日に行われ、小泉氏に変わって新しい総裁が誕生します。国会での勢力から自民党総裁＝内閣総理大臣となりますが、それにしてもマスコミの騒ぎぶりは異常に写ります。後継者は、安倍晋三氏で決まりでしょうが、小泉政治の５年間とは何だったのか、職場で話し合ってみませんか。

## ぶっ壊したのは国民生活

「自民党をぶっ壊す」と言って登場しましたが、壊したのは「国民の生活」でした。非正規労働者の増大が「格差」拡大の大きな原因ですが、この５年間に正規労働者が３００万人減少し、非正規が３００万人増えました。全労働者の３分の１，若者の半分が非正規です。年金・医療制度の大改悪、そしてこの６月に大問題となった住民税の大増税をはじめ、庶民大増税。「官から民へ」「規制緩和」で公務サービスを切り捨て、弱肉強食の競争社会へと、庶民に痛みばかり押しつけてきた５年間でした。

## アメリカいいなりとアジア軽視

日本の外交も平和も、異常なほどのアメリカ一極主義により、大きくゆがめられています。憲法違反のインド洋への自衛隊派遣、イラク派兵、在日米軍基地強化に３兆円など、アメリカ言いなり。一方では、毎年の靖国神社参拝強行で、中国、韓国などアジア近隣諸国との関係は最悪。このことが日本の経済にも大きな影響を及ぼす懸念が高まっています。

## ポスト小泉でさらなる悪政が

では「ポスト小泉」後継者はどうでしょうか。候補者３人はいずれも小泉内閣の重要閣僚で小泉政治を進めてきた張本人です。とりわけ当確と言われている安倍氏は、小泉氏以上に「親米タカ派」の政治家です。総裁選出馬にあたり、早くも改憲をうちだしています。これも小泉の政治の流れを、国民共同の運動で転換しましょう。（克）

# 大山でのヘリ訓練はやめろ
# 反対する会が抗議の登山

9月8日の抗議登山に参加した人たち（山頂のヘリパッド横にて）

渥美半島の最高峰、越戸大山（３２８ｍ）にある陸上自衛隊航空学校のヘリ訓練場での初の離着陸訓練が９月７日に行われることが９月５日の田原市議会で明らかになりました。

これに対し、８月18日に結成されたばかりの大山自衛隊ヘリ訓練に反対する会では緊急の抗議登山をよびかけて、大山山頂にあるヘリパッドへの登山を行いました。７日は朝から雨が降り続きこの日の訓練は中止され翌日に延期。翌８日は曇天のため抗議登山を決行しましたが、午前９時または午後２時に予定された訓練も視界不良のため今回の訓練計画はすべて中止となりました。

地元で自然保護とヘリ訓練反対にとりくむ大羽康利さんは「大山は貴重なオオタカやサシバなどの繁殖地だし、今回のように大山一帯は南から湿った風が吹くと山頂付近は雲に隠れてしまう所で訓練には不向き。引き続き監視を強めていく」と話していました。

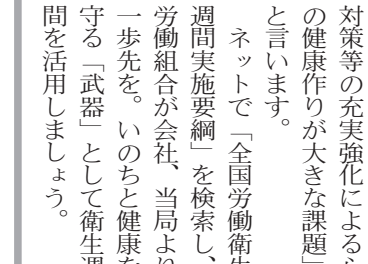
空中給油機

# 2月下旬にも小牧に配備
# 運用は08年度末から

新聞報道によれば、航空自衛隊小牧基地に配備が予定されている空中・給油輸送機の１機目が来年２月下旬にも配備され、08年度末から同基地の新部隊がすることが明らかになりました。

配備後はＦ15など戦闘機への給油のため、戦闘機の訓練に伴う発着が中心となる見通しで、空飛ぶガソリンスタンドが上空を飛び回ることになります。

# 地域の要求を束ねて
# 名地連が名古屋市と交渉


名古屋市との交渉

名地連は、市内の労働者・市民の地域要求に基づいて、８月23日に名古屋市と交渉しました。

当日は、愛労連や各地域労連、市民団体などから19名が参加。名地連の竹内議長の挨拶の後、河合事務局長の司会で交渉に入りました。

名地連では、提出した「要求書」の中より、不払い残業の根絶の推進、子どもの健全育成と子育て環境整備の充実、守山市民病院など市民病院の充実、教育館の建て替え問題、たんぽぽ保育園の日照権問題、住友電工名古屋工場跡地問題、介護保険の助成措置の充実、瀬戸線東大手駅のバリアフリー化の促進など、８項目を重点項目とし、名古屋市側から回答を受けながら２時間交渉しました。

交渉は時間的な制約もあり、充分に突っ込んだやりとりまでは行かなかったものの、重点８項目についての名地連と市民団体の問題意識と名古屋市側の考え方が明瞭となる内容となりました。名地連では、今後も地域労連の協力を得ながら、要求の実現へ対市交渉の積み上げと地域運動を持続的に展開していくことにしています。

読まれる待たれる新聞・ビラづくり　第11回あいち機関紙宣伝学校

| | |
|---|---|
| とき | 10月28日(土)13:30～<br>10月29日(日)10:00～ |
| ところ | 労働会館本館2F会議室 |
| 参加費 | 300円 |
| 弁当代 | 1,000円(2日目) |

■内容
1日目　記念講演など
2日目　実践講座
①新聞づくり初任者
②ビラづくり
③デジタルカメラ基礎
④パソコンで新聞づくり／基礎
⑤　〃　／ステップアップ

ピケを張った8月8日のスト

たたかう仲間たち　NO.23

JMIUユータック分会への組合敵視・差別

# 団交開催求めたストに対し不当解雇攻撃

ＪＭＩＵ愛知支部ユータック分会　分会長　黒田　忠

ユータック（株）（海部郡飛島村梅の郷）は、食品包装パックを製造販売する従業員１００余名の会社で、１９９２年２月にＪＭＩＵユータック分会が結成されました。会社側は組織破壊を意図して第２組合（連合愛知一般同盟ユータック労組）をつくらせ対抗してきました。団体交渉では第２組合を優先して回答を出し、低水準で先行妥結させ、ＪＭＩＵにこの回答を押しつける政策を取り続けてきました。

こうした中、会社は１月に「新小牧営業所」への配転をＪＭＩＵに打診。「配転問題は人事権で経営権の問題だ」と主張して団交に応じない姿勢を取り続けています。組合側はこの問題を春闘要求とともに提出しました。しかし、会社は４月から６月までの６回の団交で他の要求では交渉に応じてきましたが、４月15日に主な議題が配転問題になった時、組合員が14名出席したことで「人数が多い、恐くて交渉できない」と交渉せず退席。６月９日の団交では着席もせず退席してしまいました。

会社は７月24日付の辞令を強行発令、それに応じないとして７月28日から５日間「出勤停止処分」を強行しました。分会は不当処分への抗議と団体交渉開催を要求して８月８日、24時間ストライキを行いました。会社は団体交渉にも応じず、３名の組合員を懲戒解雇する不当処分を行いました。

今回の一連の攻撃に当たって、７月７日より人事労務部長に就任した梅村芳昭氏は、連合愛知一般同盟のＨＰでは「副会長」と紹介される人物で、第２組合と会社の癒着ぶりは鮮明です。今回の解雇がＪＭＩＵ敵視・差別の攻撃であることは明らかです。

組合は名古屋地裁に地位保全の仮処分申請を申し立て、第１回審尋が９月21日開催されます。

安全衛生 ひとくちメモ

# 疲れてませんか…
# 10月は労働衛生週間

組合機関紙を見ていると、現役の仲間の訃報が載るときがあります。写真を見て、その若さに驚くとともに、死因を聞き及ぶと、今年の全国労働衛生週間のスローガン、「疲れてませんか　心とからだ　みんなでつくろう　健康職場」からも実態が推測されます。愛知労働局長も、「仕事や職業生活における大きな不安や強いストレスを感じる労働者の割合も増えております。平成10年以来、毎年３万人を超える自殺による死亡者が発生し、政府の自殺予防対策推進の観点からも、職場のメンタルヘルス対策等の充実強化による心の健康作りが大きな課題」と言います。

ネットで「全国労働衛生週間実施要綱」を検索し、労働組合が会社、当局より一歩先を。いのちと健康を守る「武器」として衛生週間を活用しましょう。

# 憲法・教育基本法改悪反対 安全安心の公共サービスを守ろう

## 愛労連秋季年末闘争方針ダイジェスト版

愛労連は9月2日第1回評議員会を労働会館において開催。討論では11人がこの秋から年末にかけてのたたかいを具体化した秋季年末闘争方針を補強する立場で発言し、方針を全員一致で採択しました。また、6名の委員から構成される選挙管理委員会を設置しました。

### （1）秋の組織拡大月間の成功にむけて

①拡大目標を加入で4％・2100人、純増で2％・1050人とする。

②単組・支部まで参加する組合員拡大運動を追及する。困っている家族や友人に愛労連を紹介できるよう各単産・地域の機関紙などに労働相談などの広告掲載、大量宣伝活動、HPの充実など。

③組織拡大交流会を9月16日（土）に開催する。内容は医労連および建交労をはじめ単産の実践報告を中心に。

④パート・臨時の組織化と並行して組織の活性化をめざして、10月22日に第11回パート臨時の元気が出る集会を開催。事前にパート・臨時労働者実態調査を実施。

### （2）公務員賃金闘争・一時金闘争

①9月13日（水）午後1時30分より愛知県人事委員会に愛労連や公務共闘などで要請。

②公務員賃金・一時金闘争の官民一体の決起集会は10月下旬に計画。

③07春闘討論集会を12月2日から3日に開催する。

### （3）労基法遵守、働くルール確立のたたかい

①高校卒業生に最低限の働くルールを学ぶ場を設けるよう10月に校長会に要請。青年の雇用確保や非正規労働者の労働条件改善めざして開かれる「愛知de雇用祭」（11月23日）の成功をめざす。

②労働契約法制反対ですでに実施している団体署名を広げる。（9／15第一次集約、10／15第二次集約）

③11月を「すべての労働者に労働基準法の遵守を」キャンペーン月間とし、宣伝や申し入れ活動を展開。

④トヨタシンポジウムを11月26日（日）に開催。

⑤JMIU・ユータック分会での不当解雇事件で地裁宛団体署名、仮処分申請第1回審尋（9月21日）に多くの傍聴を。

### （4）臨時国会、憲法・教育基本法改悪阻止等

①臨時国会では「新内閣」のもとで憲法・教育基本法改悪阻止のたたかいが大きな焦点になる。宣伝・署名の強化のために、9月27日と10月25日を統一宣伝日とし、各地域で最低1か所以上で宣伝行動をおこなう。単産からの積極的な参加を追及する。

②安全・安心の公共サービスシンポジウムを10月15日（日）に開催し成功させる。住民税や国保税の減免、就学援助、年金・水道料金など各種減免、要介護者の障害者認定など住民に役に立つお知らせをつくり、職場から地域に出て公共サービスをまもる運動をひろげる。全労連が作成した「もうひとつの日本を」（ビデオ、DVD）を普及する。

③大増税反対・社会保障を守るとりくみでは、大増税反対ネットが行う、憲法・増税に関わる学習会（10月5日）への参加を強める。介護・医療・福祉など社会保障の充実をめざす自治体キャラバンについては10月17日から20日。昨年を上回る地域での事前学習会も成功させる。

### （5）その他日程等

その他9月～年末までのおもな日程は左記の日程表を参照。

### （6）県民主人公の県政をめざすたたかい

①9月23日に開催される革新県政の会の総会を成功させる。

②地域ごとにある革新県政の会の活動を再開するため、新婦人や民商などとの相談を急ぐ。

③各種会議・集会で県政の会が作成したビデオ・DVDを活用して県政の現状を知らせる。また地域の会などで県政ウォッチングなどもとりくむ。

### （7）秋の地域総行動について

①これまで、年2回の地域総行動をおこなってきたが、地域によっては、平日に集中して行動が組めない地域もでている。そのため、この秋は「秋の統一行動」として宣伝行動を軸とした地域行動として提起する。時期は11月13日（月）～11月19日（日）の1週間と設定し、駅頭でのいっせい宣伝行動を15日（水）を軸におこなう。

②具体的なとりくみ

11月を労働基準法遵守キャンペーン月間として、大きくアピールする。また臨時国会の最大の焦点は教育基本法・国民投票法となるので、早朝宣伝のチラシは労基法遵守と憲法・教育基本法の課題で作成。改憲反対の住民署名の過半数を展望して、地域、団地などエリアを決めて署名用紙を配布し、回収する行動を行う。地域労連では加盟組合の他、地域の諸団体とも協議し地域を割り振り、とりくみを計画する。

愛労連ではドアノブにかけて回収できるような署名グッズを作成。また団地などで回収を行う際の宣伝テープも作成する。

## 06秋季年末闘争の主な日程

■組織拡大交流会
9月16日(土)13:30～17日(日)正午
野間「やまに旅館」
■憲法・教育基本法改悪反対県民集会
9月20日(水)18:30～
栄広場（中区・三越前）
■革新県政の会総会
9月23日(祝)13:30～
労働会館東館ホール
■愛労連青年協ソフトボール大会
9月23日(祝)9:00～
名古屋港木場南広場
■職場からの社保運動推進連続学習講座
9月30日(土)、10月21日(土)、11月18日(土)、12月16日(土)いずれも13:30～
労働会館本館
■第8回あいち高齢者大会
10月1日(日)10:00～
名古屋市公会堂
■全国学習交流集会in神奈川
10月7日(土)～9日(月・祝)
神奈川県三浦市・横須賀市
■安全・安心の公共サービスシンポジウム
10月15日(日)　13:30～
名証ホール（名古屋証券取引所内）
■増税反対・最低保障年金制度実現座り込み
10月16日(月)13:30～
栄広場（中区・三越前）
■第11回パート臨時の元気が出る集会
10月22日(日)10:30～15:00
めいきん生協生活文化会館（本山）
■第11回あいち機関紙宣伝学校
10月28日13:30～　29日10:00～
いずれも労働会館本館
■福祉予算削るな！愛知県民集会
10月29日(日)10:30～
白川公園（名古屋市中区）
■憲法９条を守ろうあいち県民のつどい
11月3日(祝)13:00～
名古屋市公会堂大ホール
■秋の地域統一行動
11月13日(月)～19日(日)
いっせい宣伝行動は11月15日(水)
■教育基本法改悪反対県民集会
11月18日(土)
名古屋港湾会館大ホール
■小牧平和集会
11月19日(日)
市之久田公園（小牧市）
■愛知de雇用祭
11月23日(祝)
栄広場（中区・三越前）
■トヨタシンポジウム
11月26日(日)
農業改善センター（豊田市内）
■2007年国民春闘討論集会
12月2日(土)13:30～3日(日)正午
労働者研修センター（サンパレア瀬戸）

## 青年協ニュース AIAI NO.8

# 自分たちで創る楽しさ実感

## 全印総連青年部が全国フェスタ in 洞爺湖を開催

全印総連青年部は去る7月15（土）～17日（日）にかけ北海道洞爺湖で第48回全国フェスタを開催しました。

3日間を通じて札幌、東京、愛知、京都、大阪から約50人が参加し、バラエティーに富んだ各種企画を実施し、フェスタを通じて青年部活動へのモチベーションを高めることができました。今回は全労連青年部の小川部長にも参加していただきました。

1日目は開会式の後、オリジナルキャンドル作成を行いました。参加者全員悪戦苦闘しながら何とか時間内に作成することが出来ました。

2日目には洞爺湖周辺を舞台としたオリエンテーリングで身体と頭を使い、夕食はジンギスカンで交流しました。その夜、初日に作成したオリジナルキャンドルを囲み幻想的な気分を味わうことができました。

最終日には参加者全員で陶器作り体験をし、あっと言う間の3日間を終了しました。

全国フェスタは担当地連の実行委員だけでなく、全国の仲間全員が参加する「全員参加型」を目指して毎年とりくんでいます。また、組合活動の難しさ、楽しさを知る最適な機会と考えています。

通年の青年部活動の結節点であるフェスタの意義・目的を再確認し、当日だけのイベントで終わらないようにと考え、今後更なるとりくみを強めていきたいと思います。

（全印総連・渡辺）

洞爺湖での３日間を満喫した参加者

人物紹介

JMIU

# 日本で安心して働き続けたい
# ブラジル人労働者が分会結成

三好町の自動車部品製造工場で派遣労働者として働いているブラジル人労働者が、全日本金属情報機器労働組合（略称・ＪＭＩＵ）に加入して、８月29日に分会を公然化させました。

労働組合の名前は、「ＪＭＩＵ愛知支部・ＢＭＧ分会」で、自動車のエンジンルームに使う防音材を作っている工場に派遣されている仲間たちです。

## 一方的に雇用契約から委託契約に変更

２００４年４月に会社は、消費税を節約するため、すべての労働者を雇用契約から「委託契約」に変更し、従業員ではなく請負業者にしてしまいました。

このため、１２５０円の時給は変わらぬまま社会保険加入は絶望的となり、労災保険も有給休暇もなくなり、事業主として税金まで自主申告となりました。会社は、ご丁寧に「税務署の調査があったら『日本語は解らない』と答えろ」と指導し、労働条件だけでなく、会社の説明にもますます不安を抱き、愛労連の労働相談を通じてＪＭＩＵに加入しました。

## 団交義務はないと一点張り

公然化通告には豊田・加茂労連の加藤事務局長も参加。９月６日には、稲沢市のＢＭＧ本社（社長宅）で第１回団体交渉が行なわれ、分会役員４名と、ＮＰＯ法人「保見ヶ丘ラテンアメリカセンター」が派遣してくれた通訳、愛知支部の役員らが参加しました。

団交で会社側は、「雇用契約ではないので団体交渉応諾義務はない」、「労基法の適用はない」との一点張りでしたが、とりあえず要求について「前進方向が見出せるかどうか検討する。組合活動妨害はしない」との確認をした上、次回の団交日程を決めて分かれました。

分会役員らは、「社会保険・労災保険加入や有休は日本で長く働く上で切実な要求。ぜひ実現させ、不安のない働き方をしたい」と話しています。

## おじゃまします　NO.33　西三南労連

**杉浦 和成 さん**
西三河南地域労働組合総連合
（出身単産：自治労連）

「昼間は仕事、夜は労働組合、土日は仏道にと励んでいます」と話すのは、西三南労連の杉浦和成さん。自治体職員とお寺の住職という、ふたつの顔を持つ異色の事務局長です。

### 法話にも役立つ労働組合運動

「31年間、労働組合運動にかかわり、この体験が仏法のお話（法話）に役立っているんです」。

働くこと、家族のきずな、平和運動、経済・政治情勢…。生きている人間がテーマであるという点からも仏道につながるものが労働組合運動から得られているようです。

### 過労死問題で大企業相手にひるまず対峙

ニュース「碧の大地」は毎月発行され、三役会・幹事会も月に1度定例で行われている西三南労連。現在は二つの過労死問題にとりくんでいます。

「トヨタ自動車の内野さん、刈谷市職員の倉田さん。圧力に屈せず頑張る奥さんの決意に私たちも動かされています」

1月にトヨタの内部から全トヨタ労働組合が結成されたことで、西三南労連に新たな風が吹いているという杉浦さん。デンソーのKさんによる訴訟も含め、トヨタ総行動など、大企業相手にひるまず地域から運動を盛り立てています。

### 組織拡大と若手の育成が急務

「公務職場では組合が勝ちとった遺産があり、若手の中に不満が生まれにくく活動を作り出すことが困難になってます。対して民間では会社側の攻撃にせっかくの組合がつぶされてしまう」という杉浦さん。地域では若手の育成と組織拡大が急務です。（R）

## 新役員紹介

■東三河労連
議長　渡邊達郎／副議長　黒田守正／同　後藤伸也／同　虻川よし子／同　村松一成／事務局次長　尾崎吉政／事務局長　山本和正／同　萩野慎治

■全港湾
執行委員長　田中洋行／副執行委員長　中島章／同　宇佐美英世／書記長　青山公平

■福祉保育労
執行委員長　横井あかね／副執行委員長　石川修／同　柏本多恵子／同　神田春美／同　黒田温子／同　長尾倫子／書記長　仲野智／書記次長　藤原佳子

■建交労
執行委員長　日下二郎／副執行委員長　石村ひろ江／同　黒田守正／同　田村一志／同　豊島盛行／同　中島敏／同　山村豊／書記長　谷藤賢治／書記次長　青木信一／同　安井友紳

■尾中地区労連
議長　平田茂／副議長　加藤博一／同　今枝学／事務局長　藤山譲司

## 今後の主な日程

■第8回あいち高齢者大会
10月1日（日）10:00～
名古屋市公会堂

■願いを声に集え1000人集会
10月2日（月）11:00～
名城東小公園

■憲法と増税学習会
10月5日（木）18:30～
労働会館東館2Fホール

■原爆認定訴訟勝利をめざすつどい
10月15日（日）11:00～
鯱城ホール（伏見ライフプラザ）

■パート・臨時の元気の出る集会
10月22日（日）10:30～
生協文化会館（本山）

## 山歩　夜叉ヶ池に大文字草揺れて

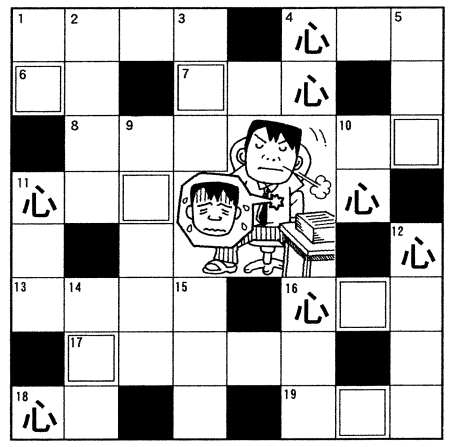
No.24　岐阜県揖斐川町（旧坂内村）

03年9月15日に幽玄の滝で撮影

文・写真　市場丈規（あるきにすとの会代表）

「干ばつから村を救うため、夜叉姫が龍神の化身である若者の妻となり、山を越えた山頂の池（夜叉ヶ池）に身を沈め、幽界の神として鎮まることになった」という奥美濃の伝説の地、夜叉ヶ池。三周ヶ岳まで足を伸ばせば、奥美濃の山々が３６０度満喫できる。初めてこの山を訪れたのは９月半ば。晴天なのに夜叉ヶ池は霧に包まれ、まさに幽玄の地という趣。稜線にはリンドウが今を盛りと咲き乱れ、夜叉姫が身を清めたと言う幽玄の滝には真っ白な大文字草が秋風に揺れていた。アクセスは北陸道木之元インターからＲ３０３を川上に、案内板に沿って林道を30分位で登山口に着く。

## クロス・漢字ワードパズル



【解き方】「心」は「シン」または「ココロ」と読んでください。二重ワクの７文字をうまくならべると言葉ができます。ヒントは中の絵。

■タテのカギ
①正解に……を付ける
②「おーい、中村君」
③お金
⑤……所にビラが張ってある
⑨ペンギンがいます
⑩……を捨てて人々のためにつくす
⑪ベッド
⑫おおげさなことをせず、気持ちだけで祝うこと
⑭前もって見ておくこと
⑮セミ、イワシ、マッコウといえば？
⑯寄席で最後に出演する

■ヨコのカギ
①ミッドナイト
④トランプゲーム。……衰弱
⑥ふり仮名につける小活字
⑦ほかのものに姿を変えること
⑧……安全を祈願する
⑩甘い……を吸う不正者は許せない
⑪……に話を聞く
⑬……作、……の人物
⑯天地……に誓って、うそはつかないと約束します
⑰机の上
⑱試しにやってみること
⑲水害を防ぐために、堤防を築く……工事

※ハガキに答え、住所、氏名、組合名、近況などを記入の上、10月5日までに愛労連（〒456-0006名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館3F）まで応募下さい。正解者の中から、抽選で図書カードを進呈します。なお、お寄せいただいたハガキの中から近況・氏名・組合名を紙面で紹介させていただきます。

## 労働相談の窓

# 無視できない非正規労働者の均等待遇

「あわや『採択』に冷や汗」8月26日付けの中日新聞にこんな記事が出ていました。

愛労連が意見書採択として出した「パート等の均等待遇の実現を求める請願」が、25日に開かれた名古屋市議会・水道経済委員会で審議されました。紹介議員になってくれたのは、日本共産党のみでしたが、委員会では、「大企業がパートや派遣ばかりで社会的責任を取っていない」「このままでは格差が拡大し、社会が不安定になる」など、与党議員や民主党議員からも次々に賛成意見がされました。ところが、委員長は「今回は様々な意見があるので保留にしたい」と言ったので委員会は混乱。一時中断し再開後『保留』になった」というものです。

議員が圧倒的に賛成を表明しているのに、「保留」になること自体が私たち市民にはよく理解できませんが、「非正規労働者の均等待遇は、格差社会の大きな問題で、どの党も無視できない問題である」ことが、このことからも明らかになりました。

最近マスコミでも非正規雇用の問題を指摘する声が多くなってきました。今まさに、私たち労働組合の出番です。